

木林 直樹 様  
塩谷 眞嗣 様  
岡 康弘 様  
畑田 正宏 様

お早うございます。

「道の駅」問題での最後の意見となります。  
残された問題の【詰め】をしておきます。

(メールの趣旨)・・・貨物車(運転手)の立ち寄り数を推計しました。  
ゼロのままでは、納得しない方もいらっしゃると思いましたが、  
で。

### (1) 今までの確認

貨物車の立ち寄り数をゼロにして、その他の車の(乗用車・バス・バイク等の)  
台数を求め、その上で、調査会社の計算に従って【立ち寄り人数】を求めたところ、  
140,729人となりました。

これは、貨物車を除く全車両が44%(交通センサス)というデータに基づいて計算  
したものでした。

この説明は、すでに、担当者に直接、行っている(プリントを渡している)ことです。

### (2) 貨物車の「道の駅」への「立ち寄り人数」

町民に示した町の試算の基礎になっている柏が丘地点の交通量は、5,261台です。  
このうち、貨物車が56%ですから、貨物車の交通量が、単純に計算できますね。

貨物車の交通量は  $= 5,261 \times 0.56 = \underline{2,946}$  台です。

このうち、これらの貨物車がどれだけ立ち寄るのか。その計算に必要な「立ち寄り率」が、調査会社と町は示しておりません。

調査会社と町は、乗車等の立ち寄り率を8%と計算にしていますが、貨物車の立ち寄り率は、乗用車の立ち寄り率と同じにはなりません。

仕事で動いている貨物車の場合は、最低でも、8%よりかなり低いはずですが。  
そこで私は、貨物車の立ち寄り率を、乗用車等の半分(4%)として計算することにしました。

(仕事で走っている貨物車ですから、4%は、かなり高い率と思いますが)  
まず、柏が丘地点の1日の貨物車の交通量は、先程の計算の通り 2,946 台  
です

そこで、貨物車の計算を「乗用車等」と同じ計算方法で計算してみます。

(1) 平日の立ち寄る「物車の台数」と立ち寄り「人数」

① 1日の立ち寄り台数・・・2,946台 × 0.04 = 118台

② 1日の立ち寄り人数・・・118人（貨物車の運転手は一人が普通なので立ち寄り台数と同じにしました。）

③ 1年間の立ち寄り人数 = 118 × 297日 = 35,046人

(2) 休日の立ち寄る「物車の台数」と立ち寄り「人数」・・・816人

休日ですから、職場は休みなので、ほとんど走らないと思いましたが、立ち寄り率を平日の10分の1と考えて計算しました。

① 1日の立ち寄り台数・・・2946台 × 0.004 = 12台

② 1日の立ち寄り人数・・・12人（運転手は1人）

③ 1年間の立ち寄り人数・・・12人 × 68日 = 816人

(3) 貨物車の立ち寄り数・立ち寄り人数

35,046台(人) + 816台(人) = 35,862台(人)

- この場合の休日68日は、調査会社に従い、日曜日と祭日だけにしております。  
週休2日制の職場も相当数あると考えられますが、もし、その分を日数に加えると貨物車の数は、増えてますが、乗用車等の人数が、かなり減ることになりますので総立ち寄り人数が、さらに減ります。従って、調査会社に従い、日曜・祭日のみを、休日としてカウントしています。

以上の計算に立つと、

「道の駅」の立ち寄り人数の合計は、貨物車以外の140,729人に、貨物車運転手の35,862人を加えた数になります。

140,729人 + 35,862人 = 176,591人 となります。

**やっぱり、32万人なんて、とんでもない数字でした。**

貨物車数を加えても、やっぱり、16万3千人以上も多く計算されています。

32万人という数字は、私が指摘したとおり、非現実的な数字です。結果として、町民に間違った数字を伝えたこととなります。

従って、32万人と言う数字を正式に訂正すべきです。

担当課、担当者が、私の根拠のある指摘を踏まえて、町長に諫言してくれるかどうかわかりませんが、トライして頂く事を期待します。

しかし、町長は、一切、訂正には応じないでしょう。あの方は、町民のために仕事をしているわけではありませんから。事実がどうかの検証など、眼中にないからです。

従って、間違った32万人を前提に、事業を進めるのでしょうか。町民に示した社員4人、パート10人の雇用は、独自の経営の結果としては、なし得ません。赤字経営が火を見るより明らかだからです。

従って、町からの大幅な補助金を投入することになります。

9億円かけて作った【道の駅】は、町民にとって、大変な負担になります。最初から、税金の投入を前提となる事業には、反対するしかありません。

そこをお願いします。

今さら、32万人という数字を、【説明会】での答弁にあったように、【目標値】などとは言わないで下さい。

32万人は、実現性のある【数字】として町民に提示しているはずですから。

私のHPに【重要施策説明会】における皆さんの答弁を【コメント】していますので時間を見て、参照して下さい。

- 私は、貨物車以外の車両数を抽出するために、貨物車の立ち寄り数をゼロにしました。その上で、以前説明してある相関係数の考えから、貨物車の立ち寄り数をゼロとして計算しました。

しかし、【いくらかは立ち寄るだろう】と考える人は、納得しないだろうと考えて、相関係数を0.2～0.4未満（低い）と捉えて、敢えて、推計してみて、上記の結論を得ました。

私は、もともと相関係数を0.2未満と考えていますので、18万人多いとの見方は変えておりませんので、上記の計算を踏まえての結論を言えば、町が示した32万人という数字は、16万3千人～18万人多く、計算されているとの結論になります。

(平成27年7月22日送信)